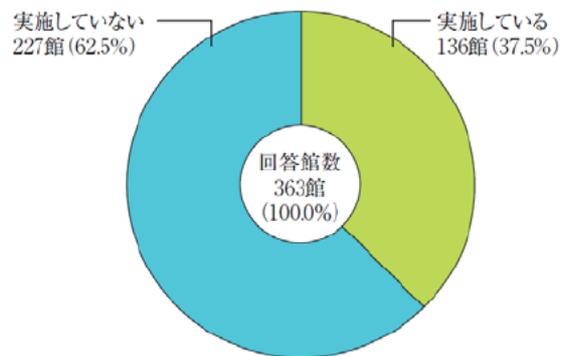
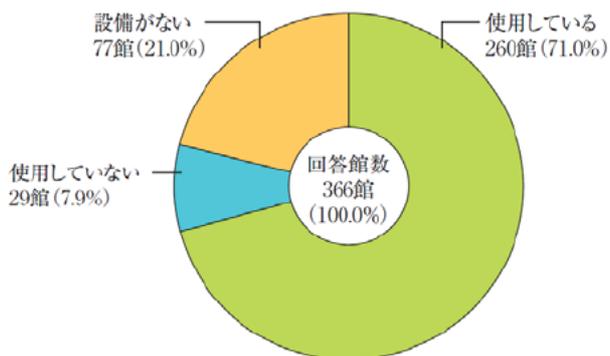
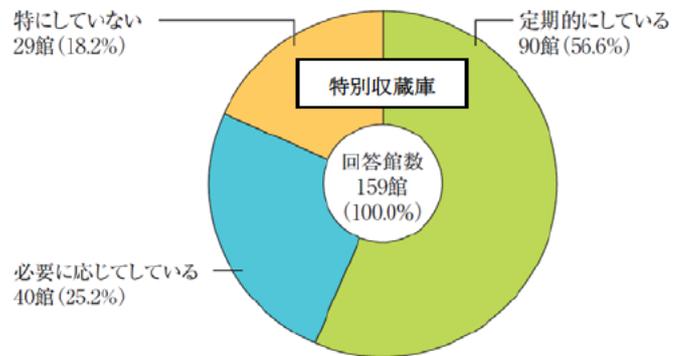
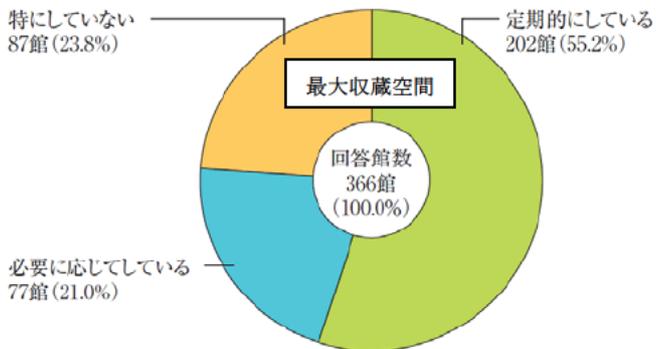
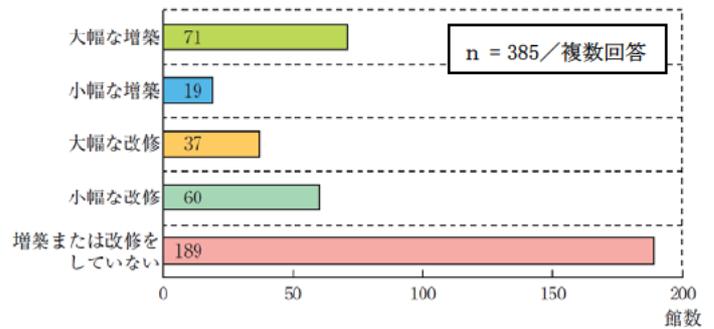
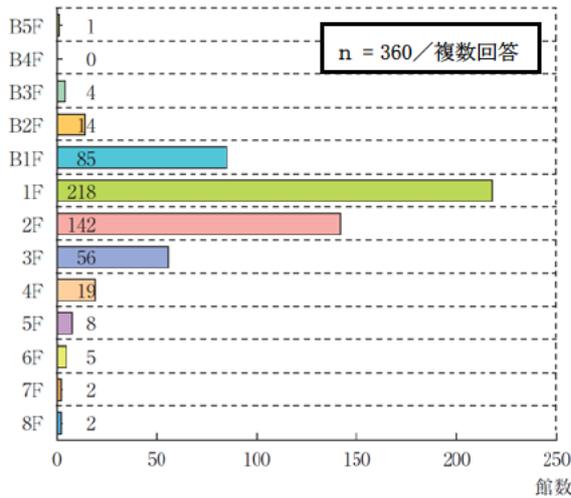


博物館のリスクマネジメントについて

1. 収蔵環境に関する調査結果（丹青研究所収蔵環境調査）

調査概要／収蔵施設の設置階数／開館後における収蔵施設の増改修の有無／収蔵施設における温湿度管理のメンテナンス／収蔵施設における空調設備の使用状況／地震対策について



- ・収蔵資料の増加に伴う収蔵庫の狭隘化、施設・設備の老朽化や管理運営体制の変化に伴う収蔵保管環境の悪化などが指摘されている。

2. 近年の博物館におけるリスクマネジメントについて

- ・平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災をはじめとした甚大な自然災害や気象変化、エネルギー問題や金融危機、各地で取り組まれている行財政改革など、現在の社会情勢は大きく変容している。こうした事象を踏まえて、これからの時代にふさわしい博物館のあり方を検討する必要がある。
- ・災害や事故への対応
 - 自然災害：地震、風水害（津波、台風、ゲリラ豪雨、洪水、浸水、竜巻）、土砂災害（土石流）、火山災害、雪害 など
 - 火災、停電事故（落雷や周辺の変電設備等の故障による停電）、設備損壊（経年劣化等）
 - 事故・違法行為：不審者・暴漢者・破壊行為、不審危険物、放火、テロ、情報漏洩（個人情報漏洩）、盗難、異臭騒ぎ など
 - 周辺施設の事故（放射性物質拡散など）
 - 感染症、アスベスト、風評被害、食中毒、生物被害（カビ、虫、微生物、小動物）
- ・情報管理
- ・省エネルギー対策：発電、節電（エネルギー効率の高い装置や器具の採用）、電気とガスのハイブリッド対応、自然エネルギーの採用 など
- ・ソフトの観点から（職員や予算の不足、運営の不安定さ、担い手・伝承者・語り部の不足、私立博物館・個人博物館が直面している問題）

■ 文化財公開施設の収蔵環境に関するアンケート調査の概要

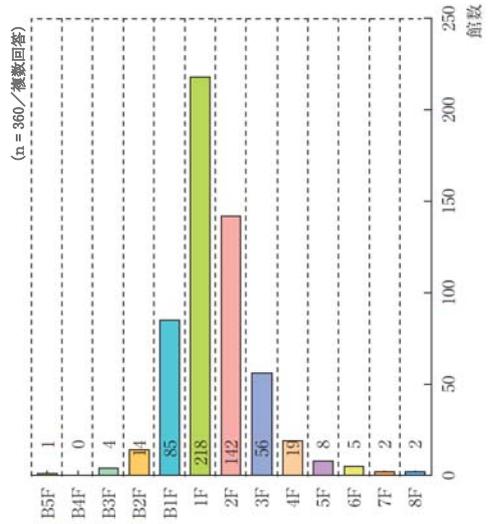
調査対象	2006年3月までに開館した博物館の中から抽出した 1,400館
調査方法	郵送式による自記式アンケート調査
調査票発送	2007年11月
回答結果	(回答回収数438館 回収率31.3%) 有効回答数385館 回収率27.5%

調査対象は、2006年3月までに開館した博物館の中から「①登録博物館、もしくは博物館相当施設のうち、人文系・美術系の施設であること」「②国立・都道府県立・政令指定都市立・県庁所在都市立・中核都市立・特別区（東京23区）立の人文系・美術系の施設のうち、延床面積1,500㎡以上の施設であること」「③宗教学法人、学校法人が設立した施設であること」のいずれかの条件に合致している施設を抽出しました。

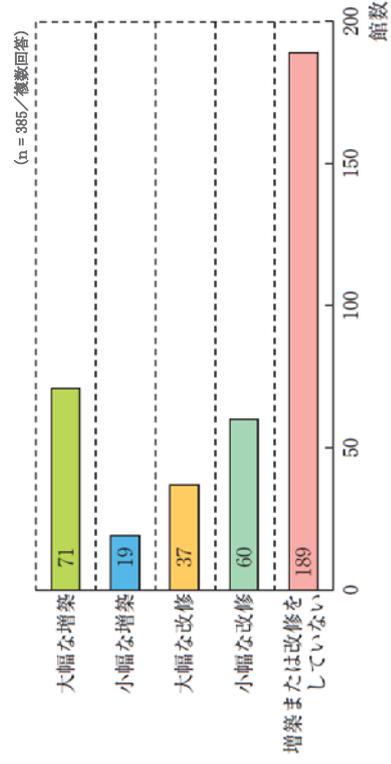
博物館のリスキマネジメントについて

平成27年10月24日
丹青研究所・石川貴敏

■ 収蔵施設の設定階数

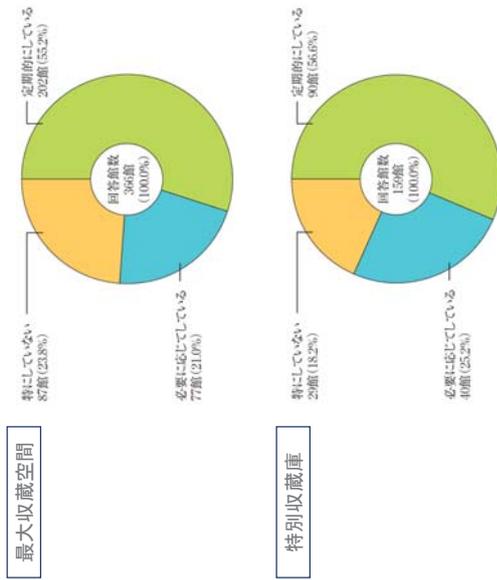


■ 開館後における収蔵施設の増改修の有無



1. 収蔵環境に関する調査結果（丹青研究所収蔵環境調査）

■ 収蔵施設における温湿度管理のメンテナンス

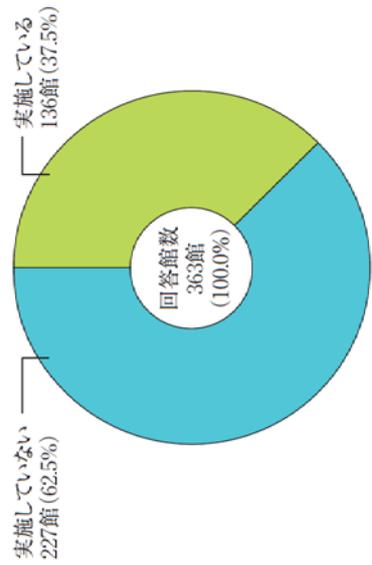


4

307

1. 収蔵環境に関する調査結果（丹青研究所収蔵環境調査）

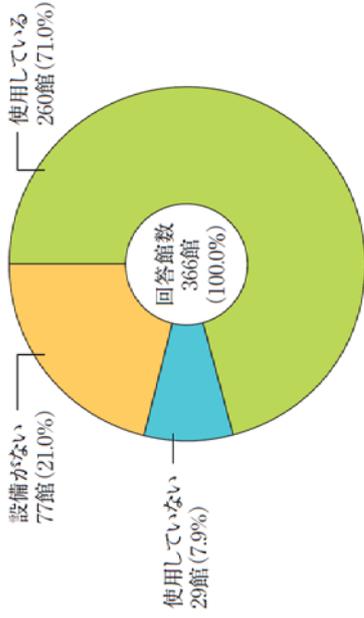
■ 地震対策について



6

1. 収蔵環境に関する調査結果（丹青研究所収蔵環境調査）

■ 収蔵施設における空調設備の使用状況



5

2. 近年の博物館におけるリスクマネジメントについて

■ 災害や事故への対応

自然災害：地震、風水害（津波、台風、ゲリラ豪雨、洪水、浸水、竜巻）、土砂災害（土石流）、火山災害、雪害 など

火災、停電事故（落雷や周辺の変電設備等の故障による停電）、設備損壊（経年劣化等）

事故・違法行為：不審者・暴漢者・破壊行為、不審危険物、放火、テロ、情報漏洩（個人情報漏洩）、盗難、異臭騒ぎ など

周辺施設の事故（放射性物質拡散など）

感染症、アスベスト、風評被害、食中毒、生物被害（カビ、虫、微生物、小動物）

7

○情報管理

- 省エネルギー対策：
発電、節電（エネルギー効率の高い装置や器具の採用）、
電気とガスのハイブリッド対応、自然エネルギーの採用など
- ソフトの観点から
職員や予算の不足、運営の不安定さ、担い手・伝承者・
語り部の不足、私立博物館・個人博物館が直面している問題